

## ～クリニカルパス大会開催報告～

2023年10月12日(木)16時より、外来棟5階講堂で、2023年度クリニカルパス大会が開催されました。



今回は、5階東病棟から「婦人科悪性腫瘍手術のクリニカルパス作成について」、5階西病棟から「白内障手術パスチェックリストの見直しについて」と題して発表がありました。発表者は産婦人科の山中先生と永田看護師、眼科の田中先生と黒森看護師です。

最初に、山中先生から代表的な婦人科癌である子宮頸癌・子宮体癌について説明がありました。年々頸癌・体癌ともに罹患率が上昇傾向にあり、癌の予防方法を話されました。また手術の紹介もあり腹腔鏡手術及び開腹手術のメリット・デメリット、当院における腹腔鏡手術の実績、周術期合併症、また他の腹腔鏡手術と比べ診療報酬点数が高いことも説明されました。

このあと永田看護師から、「婦人科悪性腫瘍手術のクリニカルパス作成について」、作成するに至った経緯を含めて報告がありました。アウトカムの内容について、通常の婦人科手術よりも内服薬・点滴の投与期間が長く、エビ抜き後から血液凝固阻止剤を5日間投与のため期間を調整した事を話されました。これから運用していく段階のため、適宜バリエーション分析を行いながら見直しを実施していく、開腹術のパスも作成していきたいと今後の課題・目標もふまえて発表されました。



次に、田中先生から白内障の手術・病態について紹介がありました。自覚症状、混濁部位による分類や原因別の分類などを紹介され、実際に手術を行っているVTRを流しながら、安全に手術を行う際の注意点や術後の注意すべき症状など、周術期を中心に説明されました。



続いて、黒森看護師より現在使用中の白内障パス3つの紹介と、チェックリスト見直しについて説明されました。これまでのチェックリストで設定されているケアスケジュールとパスの内容で項目が重複していた点の修正のほか、一部チェックリストにない項目「手術室入室時に化粧をしていないか」が抜けていたことが発覚し、インシデントが発生したため、項目を追加し手術用のチェックリストへと変更したことを説明されました。

各発表後には質疑応答もあり、出席者全員が有意義な時間だったように思います。発表者の方々にはお忙しい中で資料をまとめ、この大会に向けて尽力頂き有難う御座いました。

クリニカルパス使用後は、毎月バリエーション集計を行っており、どのようなバリエーションが発生しているかを分析し、必要時にパスの修正を行っています。今後もパス委員だけでなく、病棟の皆さんと多職種協力し合い、意見を出し合ってより良いパス作りを目指していきたいと思っております。



### クリニカルパスとは？

スケジュール表（パス表）を利用して医療の介入内容を最適化したもので、評価・改善を行うことで医療の質を向上させるマネジメントシステムです。

簡単に言えば、投薬・検査・処置・リハビリ・食事等の行為を効率よく組み合わせた予定表であります。

### 言葉の説明

- ①アウトカムとは？＝目標  
患者のアウトカム  
例)食事が摂取できる、傷が治癒する。  
例)炎症値（CRP）が陰性になる。  
例)歩行器で病棟歩行が自立できる。
- ②バリエーションとは？  
＝目標が達成できない状態のこと(クリニカルパスの予定とずれた結果のこと)  
患者バリエーション  
例)食事が開始できない  
例)歩行器歩行が開始できない  
例)点滴が終了できず数日間延長となった  
例)食事が1日早く開始された。  
例)予定より2日早く退院した

### 参加人数：26名

#### ～集録～

今回のパス大会はコロナが5類になった事などが考慮され、委員以外の参加も可能となり、総勢26名に参加いただきました。

パスの改善に向け多職種が関わり情報を周知していくことは、今後の業務軽減に繋がる良い機会だったと思います。

次回大会も継続してより多くの方が参加出来るよう望んでおります。

パス委員会 広報